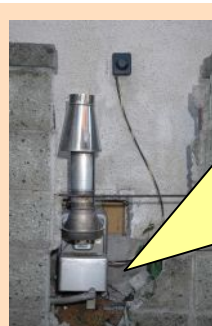


ガス風呂釜より出火した事例

火災概要

防火構造2階建一般住宅の屋外据置式ガス風呂釜から出火し、風呂釜と外壁が一部焼損した焼損程度「ぼや」の建物火災です。

浴室内のコントロールレバーによる温度調節ができなくなったため、屋外に出てガス風呂釜を確認したところ、ガス量を調節するボックスから炎が出ているのを発見、家人により風呂のお湯で初期消火に成功しています。



据置式ガス風呂釜



ボックス内の焼損状況

原因概要

焼損状況より出火原因を絞り込み、燃焼実験を行なった結果、5本あるバーナーの1本に異常燃焼(不完全燃焼:長火)が認められました。

実験後、異常を起こしたバーナー管内を観察すると、ガスと空気が流入し混合する箇所にクモの巣を発見しました。

出火原因は管内を通りバーナー側へ流入するはずのガスがクモの巣により阻害され、周囲に流れ出たため、バーナーの炎が引火し、ボックス内で燃焼し火災に至ったものです。



事故品のバーナーを使用している燃焼実験の状況

類似火災の防止対策

本件火災のように、屋外据置式ガス風呂釜を設置する周辺的环境によっては、クモなどの昆虫が侵入して機器に異常を起こし、出火に至る可能性があります。

また、枯葉などが排気筒に入り出火した事例もあります。

こうした火災を防ぐ為には、設置場所周辺の雑草、ごみ等の可燃物を除去し、クモなどの昆虫の進入しにくい環境にしておく必要があります。

また、長期にわたり使用し、今までに異常の無いガス機器でも、製造・販売店に定期的な点検を依頼しメンテナンスする必要があります。



クモの巣の発見状況



バーナーの中から焼けたクモを発見